

題名 核兵器廃絶と平和のためにできること

鹿沼市立粟野中学校 (氏名) 廣田 壮真



私は、広島平和記念資料館や、広島原爆近距離直接被爆者
原爆孤児の飯田國彦さんから見聞して、驚くものや胸が締め
つけられるものが多くあった。原子爆弾が人々から奪ったもの、世界に与えた影響は凄まじく、地獄より
も何百倍も大変なことであった。このような核兵器の実相をたくさんの人に伝え、戦争やあらゆる暴力に
対して反対し、協力し合うことが私達の身近にある平和のためにできることだと学ぶことができた。

また、私が質問をした平和記念公園に教育のために来ていた、フロリダの先生は「このような資料や光
景を見て、生徒への教育に繋がるし、もっともっとヒロシマについて学びたい」というように答えてくれ
た。私は広島県民でも被爆者でもないが、同じ日本人として原子爆弾や戦争についての当事者意識を持ち、
全員が核の実相を知り、他国の人々に伝えていくべきだと強く感じた。

広島と長崎で学んだことを、世界中に広く多くの人々に広めて、皆が平和意識を持つような世界に近づ
けるよう、日々発信を頑張りたい。